



No. 55

3/31.2011

Moriya International Friendship Association

MIFA NEWS

守谷市国際交流協会広報委員会発行

MIFA連絡先(守谷市国際交流協会担当)

所在地: 守谷市大柏950-1 電話: 0297-45-1111

URL: <http://www.fureai.or.jp/~mifa>



在日ペルー共和国ファン・カルロス・カブニャイ大使

2010年度(平成22年度)の主な事業

- |  |  |
|--|--|
| 4.18 オランダ王国大使館参事官講演会                                     | 10.18 放課後子ども教室〔高野小学校〕  |
| 5.12~7.14 第46回ボランティア日本語講座                                | 10.23 英語でおしゃべりパート6   |
| 5.15・22 日本語ボランティア講師勉強会                                   | 10.30~11.5 マインブルク市民来市  |
| 5.30 Welcome to MIFA                                     | 10.31 姉妹都市締結20周年記念式典・交流会   |
| 5.30 MIFA総会  | 11.15 放課後子ども教室〔御所ヶ丘小学校〕  |
| 6. 5 「ようこそ守谷へ2010」                                       | 11.30 MIFAニューズレターNo.54発行   |
| 6.12 英語でおしゃべりパート5  | 12.11 イヤーエンドパーティー&ブラジル音楽コンサート  |
| 6.23~7.2 21世紀東アジア青少年大交流計画インド<br>第5陣受け入れ(6.25~6.27=守谷市滞在) | 1.15・16 筑波大学留学生ホームステイ  |
| 8.21・22 北守谷地区夏祭  | 1.19~3.9 第48回ボランティア日本語講座   |
| 8.29 MIFAフェスタ2010  | 2. 7 放課後子ども教室〔郷州小学校〕   |
| 9.22~12.1 第47回ボランティア日本語講座                                | 2.26 英語でおしゃべりパート7  |
| 9.25 日本語ボランティア講師のための勉強会①                                 | 2.27~3.6 21世紀東アジア青少年大交流計画<br>「ラオス国民議会・県議会事務局担当者招聘<br>プログラム」受け入れ(3.2~3.4=守谷市滞在) |
| 9.25・26 守谷市商工まつり・きらめき守谷夢彩都<br>フェスタ                       | 3. 5 ペルー大使講演会「ペルー:大いなる可能性の国」   |
| 10. 2 日本語ボランティア講師のための勉強会②                                | 3.31 MIFAニューズレターNo.55発行  |

## 世界を知るシリーズ ペルー共和国大使講演会 「ペルー:大いなる可能性の国」



懇親会では通訳なしで大使とお話される方も多くいました

3月5日、「MIFA 世界を知るシリーズ第18回 ペルー共和国大使講演会」が、フアン・カルロス・カブニャイ大使をお招きしてログハウスで行われ、参加者は80人と会場は満席になりました。



パネルが飾られた会場

大使はこれが3度目の大使館勤務で、とても気さくな方でした。日本とペルーの関係やペルーの歴史、文化、観光についてさまざまな視点からお話くださり、予定されていた講演時間を大幅に超過したため、質問の多くは講演会後の懇親会でとお願いするほどでした。

大使のお話の後にはペルー政府観光局日本代表の永戸一孝さんが、魅力的なペルーの観光についてスライドを多用した説明がありました。

当日は大使館からお借りした「偉大なるインカ道」のパネルやポスターを会場に飾り、いただいたパンフレットとボールペンをセットにして来場者にお配りしました。

アンデス、インカなどの文明のみならずさまざまな魅力あふれるペルーを訪れてみたくくなりました。

## 姉妹都市 締結20周年 マインブルク市民と交流



今回は記念植樹ではなくプレートの交換

マインブルク市との姉妹都市締結20周年記念式典が10月31日にログハウスで行われ、式典、交流会には120人の参加者がありました。

守谷市国際交流協会では、何か記念になるものと考え、メンバーを募りベートーベン交響曲第九の合唱を、式典終了後の交流会で披露しました。全員が協会員とはいきませんでした。30人の合唱団はこの日に備え何回も練習を重ねてきました。

また、11月3日には、来日したマインブルク市民の方たちと都内を見学し、翌4日にはログハウスで日本文化体験を行い、協会からは漆塗りの箸を来日された方々にプレゼントしました。



浅草仲見世を散策

このような市民レベルの交流は、それぞれができる範囲で継続することが大切だと思います。参加した会員からは交流会が非常に良かったこと、これで終わらず継続したいという意見が多く出されました。これからも姉妹都市との市民交流が続くことを願っています。

### マインブルクからお見舞いのメール

マインブルク市のジョゼフ・ライザー市長と市行政部長のゲオルグ・ハリダーさんの連名で、今回の大震災に対するお見舞いのメールが届きました。

「強いショックを受け、被災地の映像を見て心をいためている。何か私たちにできることはないか、遠く離れた友として何をすべきか教えてほしい。市民は、守谷の子どもを預かることを申し出ている」

また、これまでMIFAがホームステイを受け入れたさまざまな国のゲストからも、「心配している。手助けすることはないか」というメールが届いています。こうしたメールを読むと、とてもありがたく、市民レベルの草の根交流が着実に根付いていると感じました。

# 東アジア青少年大交流計画 ラオス訪日団



茨城県副知事と会談

JICEから「ラオス国民議会議事務局担当者20人が2月27日から来日するので、守谷市国際交流協会で受け入れてほしい」と依頼があったのが、1月8日。急な依頼でしたが、これまでの経緯やホームステイがないことなどを考慮し、MIFAでは受け入れることにしました。

今回の訪日団は政府組織の事務局担当者が招聘されています。来日が2月末から3月にかけてで、視察希望は地方自治体や議会でしたが、ちょうど茨城県も守谷市も定例会の最中です。視察を受け入れてもら

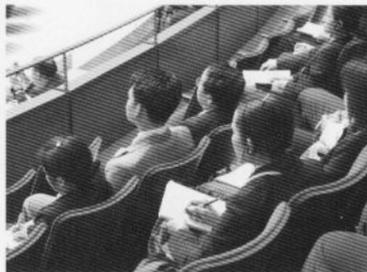


茨城県議会正副議長を表敬訪問



事務局からの説明に熱心にメモをとる

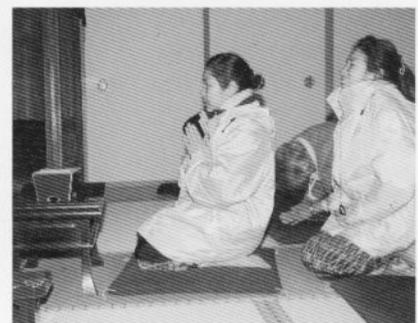
えるか心配しましたが、県・市、県議会・市議会ともに快く引き受けてくれて、無事、知事（副知事が代理）・市長、県・市議会議長を表敬訪問、また、議会議事務局も視察し、説明を受けることができました。



茨城県議会一般質問を傍聴

同行していて驚いたことは、どんな説明にもこまめにメモをとること。一言も聞き漏らさないように耳を傾け、びっしりノートに書き込みます。さすがに選ばただけのことはあると感じました。

ほかにも常総環境センターやアサヒビール工場を見学し、最終日には、着物を着て箏の演奏やお茶席を体験するなど文化交流を図りました。



大半が仏教徒というお国柄。仏様に手を合わせる（雨引観音で）

## 英語でおしゃべり

パート6 & パート7



### 10月23日 英語でおしゃべり パート6

ログハウスを会場に、英語でおしゃべり パート6 「どんな風かな？ 宇宙での生活」が行われました。

内容はゲーム、クイズ、映画鑑賞、レクチャーなど盛りだくさんで、メインテーマが宇宙のことでもあり少し難しかったかもしれませんが、興味を持って集まった方たちなので、全体としては参加者に喜んでいただけたと思います。

### 2月26日 英語でおしゃべり パート7

この日のテーマは「インドって どんな国？」。インド大使館職員を含め4人のインドの方が来られ、お国紹介やヨガ体験もあり、大いに盛り上がりました。ディスカッションでは4つのグループに分かれ、それぞれインドの方を中心に話が弾んでいました。

# イヤードパーティ& ブラジル音楽コンサート



音楽好きにはたまらない一時でした



12月11日、イヤードパーティがログハウスで行われました。今年は第1部として「ピカイア・パンデイロ・スペシャル」によるコンサートが行われ、その後ブラジル料理を中心にしたパーティーとなりました。

ピカイア・パンデイロは2003年から活動を始め、ベルナンブーコヤバイアなどのアフロブラジル音楽を主なモチーフにしつつ、サンバ、ショーロ、ボサノヴァからジャズ、ファンク、ロックまで取り組み独自の音楽を提供しています。

コンサートではメンバーから楽器の説明や曲の紹介があり、ブラジル音楽の一端に触れることができました。コンサートが終わってからはメンバーを囲んで、話の輪が広がり、一年を締めくくりにふさわしいイベントとなりました。



## 放課後こども教室



2月7日 郷州小学校で

国際理解ワーキング・グループは、10月18日に高野小学校、11月15日に御所ヶ丘小学校、2月7日に郷州小学校で、「放

課後子ども教室」に参加しました。

テーマはいずれも「太平洋の島国」で、これは、太平洋にはたくさんの島国があることや小さいけれど一つの国であることを知ってもらうために行ったものです。貝やヤシの実などを実際に触って、太平洋に浮かぶ島国を身近に感じてもらい、クイズを通して太平洋の国々の生活を感じてもらいました。

こうしたイベントを通して国際交流の面白さ、重要さ、楽しさを覚えてもらえたらと思います。

## 筑波大学留学生ホームステイ



お点前体験

1月15日から16日に筑波大学留学生を招待して、ホームステイが行われました。

ゲストは、ウズベキスタン、中国、台湾の方が各2人、キルギス、韓国、ルーマニア、ロシ

アからが各1人で、東アジア、中央アジアから来られた留学生が多くいました。日本に来てからまだ数カ月という人もいましたが、「お国紹介」では皆さん流暢な日本語で紹介されていました。

日本文化の紹介ではお茶席を用意しましたが、良い体験になったようで、使ったお茶碗をお土産に渡されてうれしそうにしていました。ゲストの方々が母国に帰ってからも長く交流ができればと思いました。

外国人のための

## ボランティア 日本語講座

第47回日本語講座が9月22日から12月1日まで、第48回が1月19日から3月9日まで行われ、それぞれ26人と19人の受講生が熱心に日本語を学びました。講師も新人が多く参加し、マンツーマンに近い授業となっています。

残念なことに第48回の講座は、3月11日に発生した東日本大震災のために最後の2回は打ち切りとなってしまいましたが、在住外国人にはまだまだ日本語を習得したいと思っている方も多くいます。講師のボランティアに興味がある方は、ぜひ、ご連絡ください。

日本語講座からのお知らせ

**次回開催は  
曜日、時間が変わります!**

期間：5/22(日)～7/31(日)  
(7/10を除く)

時間：午前10時30分～  
正午

会場：ログハウス